

とらじいさんの SSKA 冬

No.232・2021 1.15

おもな記事

念頭にあたって 戸倉振一会長あいさつ ……………表2

特集 透析患者における
新型コロナウイルス感染症の現況と対策… 1

謹賀新年



イラスト：バンザイ

 特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
http://www.toujin.jp/ E-mail info@toujin.jp

コロナ感染対策を徹底し、健康管理に留意しましょう

NPO法人東京腎臓病協議会会長 戸倉 振一



あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症による影響が大変な状況ではございますが、会員の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。このような中にもかかわらず、東腎協の活動へのご支援、ご協力に心より感謝いたします。

現在、新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るい、感染拡大が続いており、いまだ収束の兆しが見えない状況です。私たちの活動も大きな影響を受けることとなりました。昨年計画していた全てのイベントが感染リスク回避のため、中止を余儀なくされました。

リモート会議の活用

一方で、対外的な活動を滞りなく行っていくため、リモートでの対応が可能ないように体制を整備しました。理事會については、一部書面表決や事務局での参加がありますが、パソコンやスマートフォンを使用したリモートでの会議が成り立つようになりました。

東京都への2021年度の予算要望は、リモートでの対応をお願いし、都議会各会派へのヒアリングは人数を限定し対面で行い、新型コロナウイルス感染症に対する透析医療の問題点について説明し、万全な対策を講じていただくようお願いをいたしました。

また、災害時に透析医療を確保するための対策については、リモート会議を活用した協議が進み大きな進展が見られました。

東京都福祉保健局発行の「災害時における透析医療活動マニュアル」の改定を検討する東京都特殊疾病対策協議会腎不全対策部会（部会長…秋澤先生）に東腎協も委員として参加させていただき、患者の立場からの提案をさせていただきました。このマニュアルは本年7月に発行される予定ですので、その普及啓発を進めていきたいと考えています。災害時に患者が活用できるポータルサイトの構築を検討している東京都臨床工学会の先生方ともリモート会議

を行っているところですが、これも有効に活用出来るようにしていきたいと考えています。

今後の活動

さて、今後の活動についても、当面コロナ禍の影響を受けることとなります。2月に予定している都民の集いは聴衆を入れず講演した録画を東腎協ホームページから配信することとしました。

その他の近年増えてきている高齢透析患者の栄養障害、筋力低下による日常生活や生活の質の低下、また、高齢でなくても、自粛生活の長期化による悪い影響もあると考えられます。こういったことに対する対応を機関誌等で提供して行きたいと考えています。

感染予防の徹底

気温が低く、空気が乾燥する冬は、新型コロナウイルスに感染するリスクも高くなると言われています。実際に、昨年末からの感染者が急増し、

それにともない透析患者の発症者も著しく増加し、入院調整が困難な状態となっており、自施設での個室透析または空間的な隔離・時間的な隔離で透析を行うようになっていきます。今一度感染対策を徹底し、健康管理に気を付け、この冬を乗り切ってください。

来年は東腎協も50周年

このような状況下ですので、今年5月東京開催予定の全腎協50周年記念大会は延期の方向で調整に入っています。

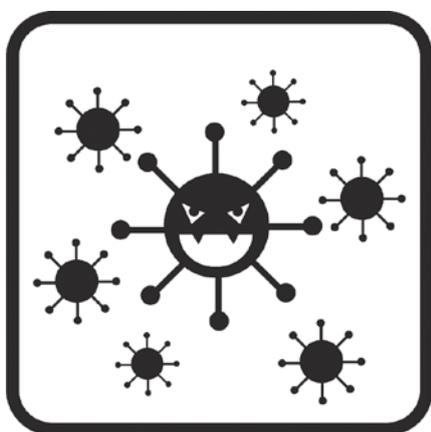
これまで準備を進めてきたことは一旦白紙とし、改めて、来年2022年度に東京で開催になると思われると思います。

来年は東腎協も結成50周年を迎えますので、大会については全腎協・東腎協同時開催という形で盛り上げて行きたいと考えています。

本年も引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

透析患者における 新型コロナウイルス感染症の 現況と対策

- 日本透析医会新型コロナウイルス感染対策
ワーキンググループ 委員長
- 医療法人社団豊済会理事長
下落合クリニック院長 菊地 勘



目次 2 3 2 号

年頭にあたって NPO東腎協会長 戸倉振一 …… 表2	2019年末透析患者の現況……………13 2021年年賀名刺広告……………14 事務局から……………19
特集 透析患者における新型コロナウ イルス感染症の現況と対策 …… 1	透析30年会員表彰…………… 表3
理事の年賀挨拶…………… 6	第32回腎臓病を考える都民の集い …………… 表4
活動のまど……………11	

謹んで新春をお祝い 申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、東京オリンピックは延期となりました。そして、患者様には、3つの密（密閉、密集、密接）を避けること、不要不急の外出や旅行、集団での会食は控えることなど、新しい生活様式の徹底をお願いしてきました。

いまだにCOVID-19の終息の見通しはたまた、現状では有効な治療方法もない状況です。感染対策として、引き続き毎日の体温測定と健康状態の確認を行うこと、発熱や咳、嘔吐や下痢などの症状がある場合は来院前に必ず維持透析施設に連絡すること、常時マスクを着用すること、定期的な手指衛生（手洗いやアルコール消毒）を行うこと、そして新しい生活様式の徹底を継続していただくこと、これらを順守していただく必要があります。

透析医療は、送迎バスや透析室、更衣室や待合室などの空間を集団で共有している治療ですので、一

人でも対策を怠ることがあれば集団感染につながります。皆様一人一人の努力が、維持透析施設でのCOVID-19発生の予防、そして全国での感染拡大の終息に繋がります。非常に大変な状況ですが、本年も引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

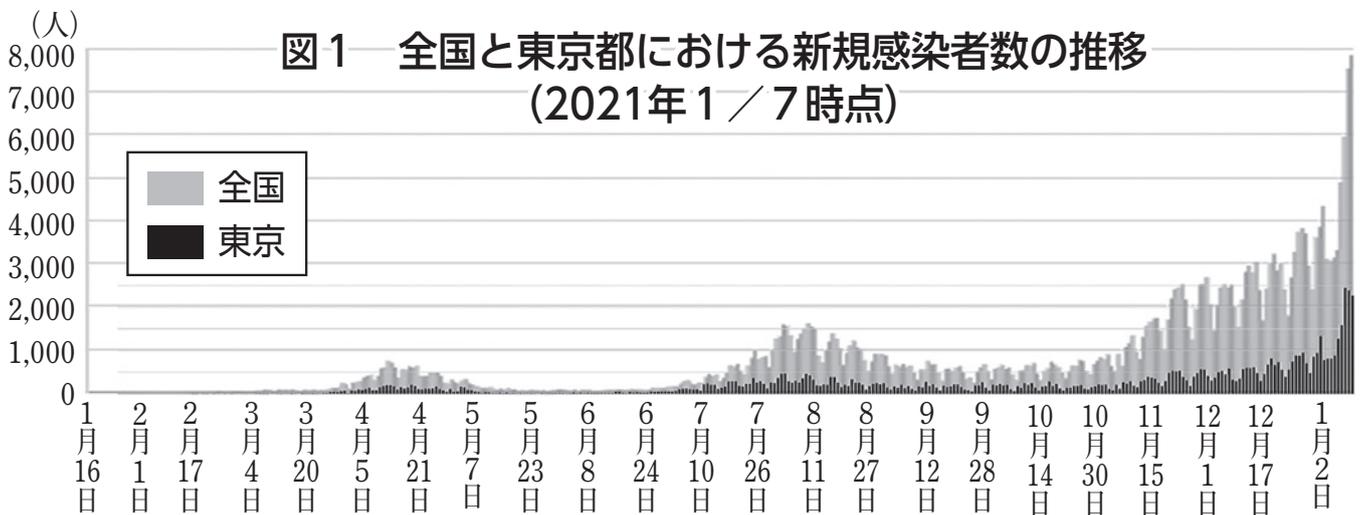
皆様にとりまして幸多い年になりますよう祈念しましております。この後に透析患者におけるCOVID-19の現況と対策についてお話をさせていただきます。

COVID-19の流行状況

日本では、2020年1月16日に武漢市に渡航歴のある患者がCOVID-19と診断され、3月下旬よりCOVID-19新規患者数の急激な増加を認め、4月16日に全国を対象に緊急事態宣言がなされ、5月25日に緊急事態宣言が解除されました。その後、第2波である新規患者数の増加が7月より始まりましたが、7月末をピークに患者数は徐々に減少傾向となりました。

しかし、第2波のはつきりとした終息を見る前に、11月より第3波である新規患者数の急激な増加

図1 全国と東京都における新規感染者数の推移
(2021年1/7時点)



以下の情報より作成

東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト <https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>

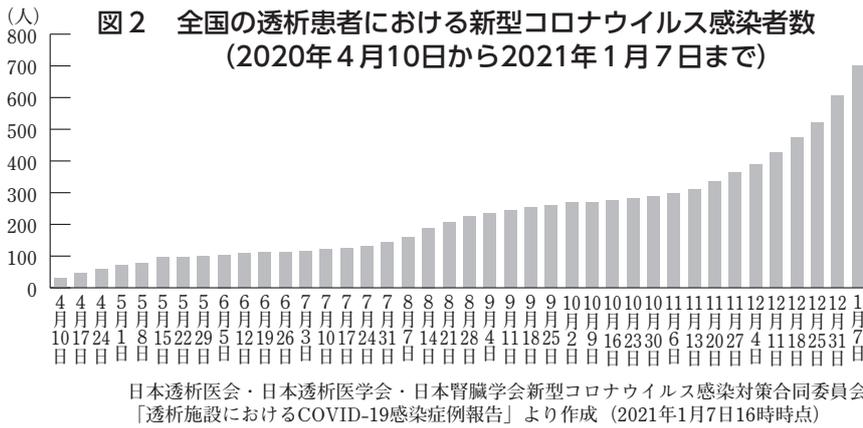
厚生労働省新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

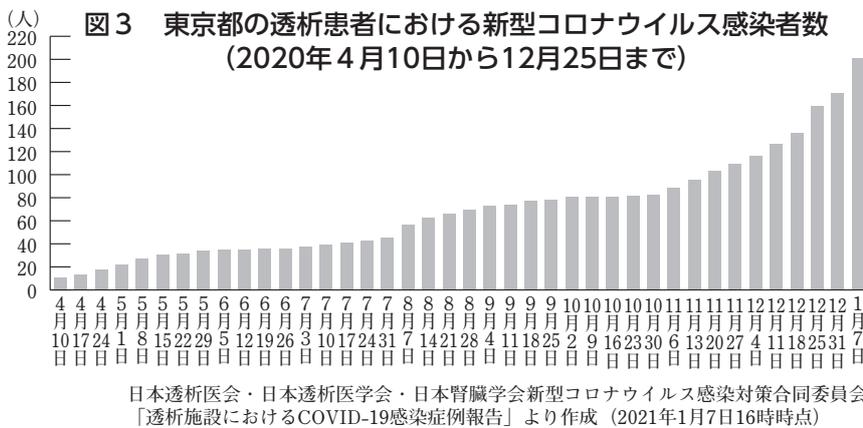
を認め、主要都市を中心に入院床がひっ迫する状況となつています（図1）。

2021年1月7日の全国における新規感染者数は7,571人、東京都における新規感染者数は2,477人であり、1日の感染者数は日増しに急増しております。感染拡大に歯止めがかからず医療提供体制が逼迫、一部地域では崩壊していることから、東京、神奈川、埼玉、千葉の首都圏を対象として、1月8日から2月7日までの1カ月間、「緊急事態宣言」の再発令がなされました。

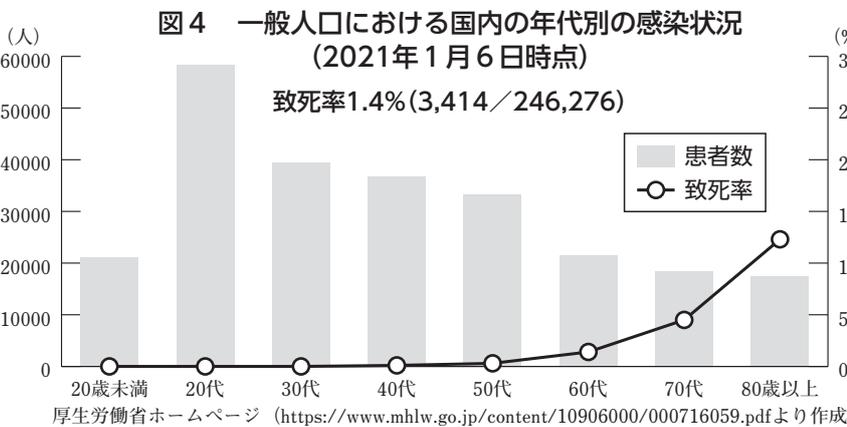
一方、2020年3月1日に国内で最初のCOVID



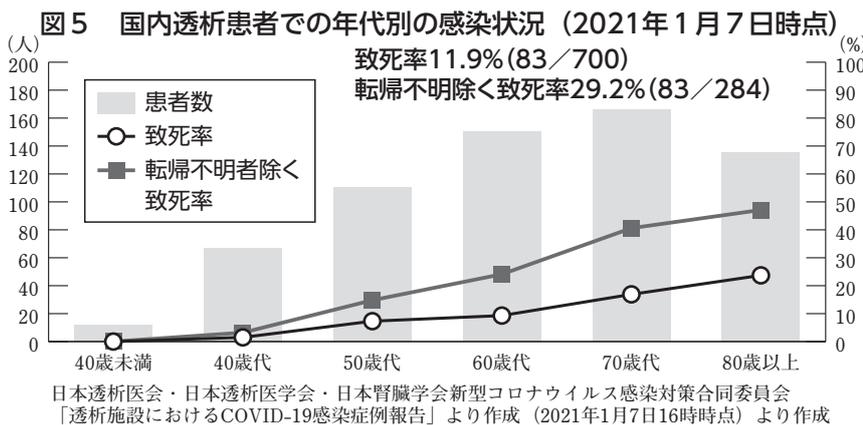
D-19透析患者が発生、透析患者におけるCOVID-19は、4月10日時点で31人、第2波までの10月30日時点では287人であり、COVID-19透析患者数は徐々に増加しています。従来から透析施設では、「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」に準拠し



た、厳格な感染対策が行われていることから、密接した空間での集団治療にもかかわらず、急激な感染者数の増加は抑えられてきました。しかし、11月より始まった第3波では、一般人口の急速な感染者数の増加により、透析患者においても急速に感染者数が増加しています。2020年10月末からの約



2か月で患者数は2倍程度に増加して、12月25日時点の感染者数は522人となり、更にその2週間後には12月25日時点までの累積患者数の1/3にあたる178人が増加し、2021年1月7日には700人と、感染者数は急増しています(図2、図3)。また、第3波では数か所の地域



で、COVID-19透析患者が10人以上発生する、大規模なクラスターが確認されています。**透析患者におけるCOVID-19の現況**
 2021年1月7日時点の透析患者の致死率は11.9%(83/700)であり、1月6日時点の一

般人口の致死率1・4%（3、4
14/246、276）と比較し
て、非常に高率となっています（図
4、図5）。

そして、まだ入院治療中や経過
が未報告の患者を除き、はつきり
とした改善と死亡がわかる234
人の感染者に限定すると、致死率
は29・2%（83/284）と、更
に高率であることがわかります。

透析患者では、一般人口と比較
して、70歳以上の高齢者が多いこ
とや、糖尿病や心臓病などの合併
症が多いことが原因と考えられま
す。

現時点では国内で使用可能なワ
クチンは無く、確立された治療方
法は存在しないことから、感染予
防が極めて重要な対策となります。

透析患者における症状と 重症度について（2021 年1月7日時点）

37・5℃以上の発熱は82・1%
（585人中480人）の患者で
認めており、次いで咳嗽は56・9
%（557人中317人）に認め
る症状です（表）。一般でも熱や
咳は多い症状ですが、約半数が無
症状者と報告されていますので、

表 COVID-19透析患者の症状（2021年1月7日時点）

表の数字は人数

	あり	なし	不明	報告なし	合計
37.5℃以上の発熱	480	105	4	111	700
咳嗽	317	240	30	113	700
咽頭痛	99	413	66	122	700
頭痛	63	451	63	123	700
鼻汁	105	417	55	123	700
嘔気・嘔吐	57	478	45	120	700
下痢	76	464	40	120	700
嗅覚味覚異常	44	427	105	124	700

日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会新型コロナウイルス感染症対策合同委員会
「透析施設におけるCOVID-19感染症例報告」により作成（2021年1月7日16時時点）

透析患者は症状のある方の割合が
高いことが分かります。流行期に
発熱や咳のある患者は、必ず維持
透析施設に事前連絡をして、担当
医がCOVID-19を疑う場合

には抗原検査やPCR検査を行い
COVID-19に罹患している
かどうか精査する必要があります。

また、胸部CT検査で特徴的な
肺炎像を認めるのは85・6%（3
81人中326人）であり、発症
早期から肺炎像を認めます。そし
て、酸素投与が193人、人工呼
吸器の使用が76人、ECMO（人
工肺とポンプを用いた体外循環回
路による治療）の使用が7人と、
低酸素血症に対する治療が半数程
度に行われています。一般では約
80%が、自宅療養やホテル療養可
能な無症状者や軽症者ですが、透
析患者は中等症から重症の患者が
多い傾向にあることがわかります。

このため、PCR検査陽性または
抗原検査陽性のCOVID-19
透析患者は、入院加療を基本とし
ており、重症化を見逃さないよう
に管理する必要があります。

発症早期より唾液中の新 型コロナウイルス量は非 常に多い

唾液中の新型コロナウイルスは、
発症早期より非常に多いことが報
告されています。本邦からの報告
では、発症早期より $10^{4.6}$ ~ $10^{6.1}$

gene copies/ml⁴⁾、唾液1ml中に
非常に多くのウイルスが存在して
います。食事中はマスクができな
いことから、この唾液中のウイル
スが食事や会話などで周囲に広が
り、容易に感染がうつる原因とな
っています。

また、COVID-19は症状
が現れる数日前より感染性があり、
COVID-19発症前後での2
次感染（他人にうつす）が非常に
多いことが報告されています。当
たり前のことですが、COVID-
19と診断されている人が会
食に参加したり、仕事に来たりす
ることはありません。しかし、診
断される2日前ぐらいには、すで
に唾液中のウイルス量は多く、誰
かにうつしている可能性があるの
です。これがこれまでの感染症（イ
ンフルエンザやノロウイルスな
ど）とは違う、非常に感染対策が
難しく、感染が拡大してしまう要
因となっています。

発症する前より感染性があるこ
とから、すべての人が感染してい
る可能性があると考えることが重
要です。COVID-19にかか
った人の多くが自分は大丈夫と思
っていました。自分がかかると思

ってCOVID-19になった人はほとんどいません。

繰り返しとなりますが、確立された治療方法は存在しないことから、感染予防が極めて重要な対策となります。常時マスクを着用し手指衛生（手洗いやアルコール消毒）を徹底すること、人と人の距離を2メートル以上空けること、室内の換気を定期的に行い、環境表面消毒を徹底すること、この対策を繰り返すことが重要です。

患者様へのお願い

毎日の体温測定と健康状態の把握をお願いします。発熱や咳、嘔吐や下痢などの症状がある場合、来院前に透析施設に必ず連絡するようにしてください。

連絡を受けた場合、医師が総合的に判断してCOVID-19を疑う場合、自施設で診療を行うか、診療や検査を行う医療機関を紹介いたします。院内に感染症を持ち込まないことが極めて重要な対策となりますのでご協力をよろしくお願います。そして、COVID-19感染が疑われる例や家族などに感染者がおり濃厚接触が疑われる例では、クリニックでの隔離透析

の対象となりますのでご協力をよろしくお願いします。

また、首都圏や大阪府、愛知県では、透析患者は無症状・軽症でも入院という原則が保てなくなり、入院が決まるまでの間は、自身の通っている施設での透析をお願いする状況となっております。このため、COVID-19にかからないような行動と感染対策が極めて重要となります。常時マスクを着用すること、入室前に体温測定や手指衛生（手洗いかアルコール消毒）を行うことなどの協力をお願いいたします。そして、COVID-19の流行期には、不要不急の外出や旅行、集団での会食は控えるようにしてください。

ワクチン開発の動向

（少し難しい内容ですが参考に記載します）

本邦での臨床適用が近い新型コロナウイルスに対するワクチンは、ファザーザー株式会社のmRNAワクチン、米バイオ製薬モデルナ社のmRNAワクチン、アストラゼネカ株式会社のウイルスベクターワクチンです。

mRNAワクチンとは、新型コ

ロナウイルスのタンパク質の遺伝子情報を持ったmRNAを、脂質ナノ粒子に封入したワクチンです。体内に投与すると、細胞質内でmRNAをもとに抗原タンパク質が作られ、免疫システムが反応して抗体が作られます。

モデルナのmRNAワクチンは、100μgを2回筋肉注射する接種方法で、有効性は、94・5%と報告されています。通常のワクチンは高齢者ほど抗体ができにくいのですが、18-55歳、56-70歳、71歳以上の3つの群において、どの年代でも十分な中和抗体の上昇が得られ、2回接種後3か月において抗体価は軽度減少するものの、十分な中和抗体価が維持されていることが確認されています。

ウイルスベクターワクチンとは、ヒトに対して病原性のないウイルスに抗原タンパク質の遺伝子を組み込んだ、組み換えウイルスを投与するワクチンです。英オックスフォード大学と英製薬アストラゼネカのワクチンは、チンパンジーのアデノウイルスを使用しています。ウイルス自体が細胞に侵入して、細胞質で抗原タンパク質が作られ、免疫システムが反応して抗

体が作られます。

アストラゼネカのウイルスベクターワクチンは、標準投与量を2回筋肉注射する接種方法が基本的な投与方法ですが、初回に低用量・2回目に標準投与量を接種した方の有効性が高かったことが報告されています。実際に、1回目・2回目ともに標準投与量では62・1%の有効率、1回目低用量・2回目標準投与量では、90・0%の有効率、両方をあわせた解析では70・4%の有効率であったことが報告されています。また、18-55歳、59-69歳、70歳以上のどの年代でも、十分な抗体価の上昇が確認されています。

最後に

感染対策は基本をよく理解して、その基本を繰り返すことが重要です。いくら優れた対策をたてても、それを実施する患者やスタッフが全員で取り組まなければ、これをまもらない患者やスタッフから感染が拡大します。

患者とスタッフの確実な感染対策の取り組みが、感染予防に極めて重要となります。ぜひ皆様のご協力をよろしくお願いします。

NPO法人東腎協 理事の年賀挨拶

副会長・中南部ブロック長

古暮 宏

危険と隣合わせの一年



会員皆様の今年一年のご多幸を心よりお祈りいたします。

昨年は新型コロナウイルスが世界中に蔓延し膨大な感染者と多数の死者を出し、かつてない異常な事態となり今日なおその感染の勢いが止まりません。

日本でも三波にわたり感染が起き、私たち透析患者は感染すると重症化するリスクが高いため、生命の危険に晒され続けた日々を強いられました。

東腎協及び各患者会も感染のり

スクを避けるため殆どの行事や活動が出来ず大変不本意な一年となりました。

そうした中で、昨年末ファイザー社、モデルナ社等の新型コロナウイルスワクチンが開発され、高い予防効果が治験の結果証明され、昨年暮から欧米でワクチン接種が開始された事は、今回のパンデミックの収束の上で大変期待出来る明るいニュースとなりました。

日本でも本年前半にもワクチン接種が開始されるといわれ、これにより感染が収束し、本年は東腎協及び各患者会の本来の活動が出来る様になる事を願っています。

今年は今全腎協発足50周年

さて今年は今全腎協発足50周年の記念すべき年を迎えます。今から50年前、透析治療は全額自己負担で金の切れ目は命の切れ目と言われました。

全腎協はこうした状況の中で誰でも何処でも何時でも透析治療が自己負担無しで受けられる事を目指し、先輩透析患者の皆様が血のにじむような活動をされた結果、今日私達透析患者は国の保険、医療、福祉制度や東京都の各種透析医療助成制度により、世界最高水準の透析治療をほぼ無償で受ける事が出来る様になりました。

この事は50年に亘る全腎協のつもり重ねた活動の素晴らしい成果でありました。

しかし一方、現在全腎協は大きな転機を迎えています。全腎協活動のベースである会員が年々大きく減少を続けているのです。その結果組織としてエネルギーが徐々に損なわれつつあり、今後財政危機対策で社会保障費の削減が予想される中で、現在の極めて恵まれた透析医療関連制度が維持継続されなくなることが危惧されます。

50周年を期に、会員の獲得が出来るような、透析患者にとって魅力のあるビジョンを再構築する必要があるかと思われれます。

副会長・多摩ブロック長
梅原 秀孝

コロナ禍に負けないで
機関紙とWEB会議でつながりを



会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて2020年は、中国武漢から新型コロナウイルス感染が世界中に蔓延し、多数の死亡犠牲者が続出し、毎日悲惨なニュースがメディアで報道されました。

我が国でも、その対応に政府・国民一体となり苦慮しながら取り組んでいます。特に透析患者は基礎疾患を抱えてリスクが高いと聞いています。すでに一部、透析患者が犠牲にあわれた方も居ると聞いています。心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

この様な情勢の中、多摩ブロックで2020年3月8日に予定していた学習交流は中止となりました。元会長糸賀久夫様の、長期透

析をされている貴重な体験を講演して頂く予定でしたが誠に残念です。

さて、全腎協ならびに東腎協の行事も一切中止となってしまいました。会員の皆様にはご不便をおかけしました事と存じます。

東腎協では唯一情報を共有という観点から、総会、理事会、三役会をWEB会議で開催して参りました。機関紙も発刊し、事務局は頑張っています。最近の情報によりますと、コロナウイルスのワクチンが研究開発され一部の国では認可され接種されている様です。我が国も一刻も早く認可されることを期待したいです。

コロナ禍が終息し明るい日常生活を取り戻したいと思います。コロナ禍に負けず感染防止にお互い努めましょう。

理事 国分寺こやま腎友会

関口 新一

2021年を展望して

2020年は私達の日々の営みの何もかもが新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。

一昨年末、武漢の海鮮市場で原



因不明の肺炎が集団発生との第一報の際には完全に対岸の火事で

した。

しかし、年明けの2020年早々には政府のチャーター機による邦人退避、2月にはダイヤモンドプリンセス号での集団感染発生。3月にはWHOがパンデミックを宣言、海外ではロックダウン、日本でも3密回避が言われ、4月には緊急事態宣言と、コロナ禍は人類を一気呵成に巣籠生活に追い込みました。

現在も第3波の感染が急拡大する中、国の財政は史上最多の112兆円の新規国債の発行で補正予算を組む程、逼迫した状況です。

これは私達の透析医療にとってピンチです。将来、若者達が背負う借金が空前の規模に膨らむ事を意味するからです。予算を緊急に割かねばならぬ対象が増える中、透析だけが特別に遇されることかいつまで許されるのでしょうか？

巷では重症者急増で医療崩壊が

迫り、自殺者が増加している暗い世相の中、とても楽観的な2021年度の展望は描けません。世界的にはワクチン接種が始まる等やっと新たなステージに変わりつつあります。

私達も重症化リスクが高いからと何時までも手を拱いてはいられません。今こそ「誰もが何時でもどこでも、安心して透析を受けられる体制を堅持する」という本懐を守る為に、コロナ禍に相応した活動方法を築き上げ、決して制度を後退させない事が大切です。

理事長 久保ハナミズキ会

横溝 久美子

コロナ禍で：



昨年はいくつコロナに翻弄させられ、恐怖を感じた年でした。

透析室では穿刺時間をずらし、待合室や更衣室での「密」を避け、会話も極力控える等感染対策が進められました。リスクを伴う透析

患者にとっては有り難いことで、コロナの恐怖からも守られているように感じました。

ただ、今までのように励まし合ったり、相談したり、愚痴をこぼしたり、そして何より東腎協の活動報告や告知がでなくなつたのは残念でなりません。「おたより」もコンビニで印刷するのも怖く、回数を減らし、配布も個々にビニール袋に入れる等、素手で触らないように気を付けました。

また、東腎協を通して「日本透析医学会等新型コロナウイルス感染対策合同委員会」から、透析患者の感染状況や対策の情報が迅速に伝わり、対策が講じられていることに安堵しました。しかし、この情報も会員に伝えられずに歯がゆい思いでした。

そうした中でも、リモートの理事会に参加しながら、東腎協は揺るがずに続いていること、自分自身は今できることを模索しながらやっていくことを教わりました。

今は早くコロナが終息し、会員の方々と心おきなくお話できることを願っています。

理事 清湘会記念病院患者会

野口 忠男



令和2年
は新型コロナウイルス
イルス感
染症（以
下新型コ
ロナ）の

事で明け暮れました。

令和元年に中国・武漢市で端を発した？新型コロナウイルスは、日本では令和2年に入り、横浜に寄港した大型クルーズ船の乗員に感染者があり、そこで広まり、社会の注目となりました。それから札幌や東京など次々と感染者が始めました。1月19日、病院の先生方やスタッフの方々のご出席を賜り腎友会の新年会が行われました。令和2年のスタートとなりました。

「第49次国会請願署名運動」は、病院の先生方やスタッフの方々からもご署名を頂き、募金とともに収めました。

2月から3月にかけて新型コロナウイルスの感染者が始め、マスクの着用と手洗い・消毒、「3蜜」を避

けることが言われて、学校も休校するところがあり、腎友会活動は自粛となりました。

3月29日に予定していた総会は中止とさせていただきます。なお、当日は、借りていた会議室が使用できませんと江東区の施設から連絡がありました。

病院との共催という形をとらせていただいている「料理講習会」が4月5日に予定されていましたが、昨今感染者が始められている新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となりました。

4月には緊急事態宣言が出て、自粛が続く中で、会員募集が行われ、67名の入会者がありました。

社会では、緊急事態宣言を受けて、国民一丸となった取り組みにより感染者は少なくなり、5月25日には解除されました。そして、今後も感染拡大を防ぐため「新しい生活様式」を社会に定着させていく必要があると言われました。

6、7月と今年は梅雨が長く続きました。6月末に、8月23日に予定されていた「清湘会合同学術講演会が中止となりました」と病院の事務長さんから伝えられました。

7月には「特定非営利活動法人 難民を助ける会」より患者会活動の支援として頂いたマスクを会員に配布致しました。

8月は猛暑が続き、一時収まりかけていた新型コロナウイルスの感染者は、全国に拡大していきまされたので、9月の腎友会の日帰りバス旅行は行わない事になりました。

10月26・27日には、病院のご協力で見守りさんから「はんぶん米」を患者さんに一人一袋ずつお配りしていただき、また11月16・17日には、「第50次国会請願署名運動」の用紙を看護師さんのご協力で患者の皆さんにお配りしました。また、今年度の新年会は開催しないことになりました。10月から12月にかけて東京では新型コロナウイルスの感染者が日を追うごとに増えていきました。

12月には腎友会から会員に「クリスマスプレゼント」をお渡しすることができました。

このように令和2年は腎友会活動の自粛が続きました。そのため、病院のご協力とご援助、お世話を頂くこととなり、大変感謝しております。また、役員の方々の頑張りや会員・患者の方々のご協力と

ご支援にも感謝いたします。誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

これからの新型コロナウイルスの一刻も早い終息を願うとともに、皆様に感染被害が出ない事を心より願っています。

理事 昭島腎クリニック ひまわり会（青年部長）

小林 正和



会員の皆様、明けておめでとうござい
ます。

昨年は、コロナウイルスが大流行して東腎協の活動やイベント（青年部の活動等）も出来なくなりました。理事会もリモートで会議をするようになり、患者会の活動やクリニックの行事も出来なくなった所も多かったと思います。皆さんも慣れないコロナ対策や新生活様式で大変だったと思います。

一時は、マスクや消毒液の不足で高値になったり欠品してもいま

したよね。仕事もリモートワークが増えて、働き方も変わった人も多かったと思います。

僕自身の趣味のライブや舞台を観に行く事や旅行や外食にでかける事もめっきり減ってしまい、季節感もわからないようなメリハリのない1年でした。が、それは昨年の話です。

正直、今年もどんな年になるかわかりませんが（コロナが無くなる事はないとおもいますが）、昨年より良い年になるように少しでも笑って過ごすっていうか、無理しても笑顔でいれるようにしたいと思います。笑顔でいることで免疫力があがると聞いたので（昔から病は気からっていうし）気持ちだけは明るく過ごしたいと思います。最後にになりましたが、今年もよろしくお願い致します。

理事 織本病院腎友会

中野 雄藏

幕末の志士・阪本龍馬は多くの手紙を書き残した。とりわけ竜馬の良き理解者だった姉の乙女にあてた手紙は多い。有名な「日本を今一度せんたくいたし」との文面



からは、旧体制の改革をめざす熱い志がほとばしる。

その一方で、妻のお龍と、今でいう新婚旅行の様子を伝えた手紙には、九州の霧島山の登山をイラスト入りで報告。勝海舟の門弟となった時は「エヘン、エヘン」と自慢するなどユーモアを交えた手紙に気さくな人間性が垣間見られる。龍馬の時代を超えた人気の理由もこのへんにあるのだろう。

メールやSNSに押され、ピーク時の半分に減った年賀状だが、昨年末には、「鬼滅の刃」の年賀状が売れ、キャラクター年賀の最高記録を更新したとか。コロナ禍で会えない人に出すという動きもあり、人とつながるツールとして再認識されているようだ。そんなこんなで今年の年賀状は需要が増えたとの観測も。年賀状の文面に「新型コロナウイルス感染症の日本を今一度せんたくいたし」と書いた豪傑も中にはいたかもしれない。

理事 高松医院患者会

三好 かおり



新春のお慶びを申し上げます。皆様のお健やかに新春を御迎

えのことに存じます。

私は、北部ブロックで以前理事をされていた方から「ちよつと二年間程、東腎協理事を経験してきました」と言われて、訳がわからないまま理事に推されてなっていました。あれから数年、「こんなはずじゃなかった」と思いながらも事務局にまで入局してしまいました。が、歩こう会の世話役をはじめ出来る事は何でもさせて頂くつもりでやってきました。

自分では分かっていますませんが、皆様の役に立っているのでしょうか？特に昨年はコロナウイルスの影響で、何も出来ず大変申し訳なく思っています。電話でも「集まりとか無いのですか」「歩こう会は行わないのですか」という質問

を受けます。その度に「今はコロナの影響で出来ていないです」と答えるのが心苦しく思っています。事務局も夏でも冬でもエアコンを付けながら、換気の為に北側の窓（ここしか開きません）と出入口のドアを開けています。空気の流れが良く無い場所は、サーキュレーターを回し、湿度も大切と聞いて、加湿器を設置して注意しています。業務時間も月水金の15時までとなった中、業務をこなしています。

元の様式に戻るのには難しいかもしれませんが、ワクチンと治療薬、治療方法がもっと確立してくれば、東腎協の行事も対面で出来るようになってくるかも知れません。そうならば、皆様の意見を聞けるようになると思います。その日が一日も早く来ることを祈るばかりです。会員の皆様には、ご不便をおかけしますが、今出来ることを精一杯させていただきます。

最後に医療従事者に感謝を持ち、私たちが感染しない様に気をつけていきたいと思えます。今年もお世話になります。宜しくお祈り致します。

理事 あげぼの東腎会守ルビア

根津 恵子



今思えば、ちょうど一年程前から新型コロナウイルスという

ことばがニュースに出始めたのは、それから暫くたち落ち着き始めた6月半ば過ぎ、私は数年暮らしの家を離れ独居生活を始めました。同時に新しく職につき仕事も始めました。仕事は受け付け事務で、一日正味五時間程です。とても忙しい職場で習うより慣れると、次から次へと水分を採る暇もないほどであったという間に帰る時間がきて仕舞います。

暑かった夏もいつの間にか終わり、10月に入ったある火曜日、その日は午後からの仕事でした。いつものように帰りのバスを降りて歩き始めたなら、思わず衝撃：私は暗い夜道、石に躓き転んで仕舞いました。暫く起きあがれません。と云っても、ものの10分も経ってなかったのかも知れませんが。

何とか立ち上がり、家にたどり着くことができました。翌日はやはり膝と肘だけではなく、なんだか身体中痛くて起きるのが苦痛でした。透析前に整形外科を受診、レントゲンを撮ったら骨は異常無し、と骨折は免れました。でも、無理は禁物：もしかしたら骨が碎けるからと脅されました。その週はタクシーでの通院。日曜日には何とか仕事に出ました。あまり動

かなくてよい業務ですが、忙しさを痛いの忘れませんでした。

その頃から手の親指の付け根の調子が大分悪く、洗濯ばさみも使えなくなるほどでした。私は先のこと事を考え、仕事を辞めることに決めました。せっかく慣れて来たところですが仕方ありません。そして12月中旬で退社しました。

透析生活は生きてる限り続きますが、手が痛いのは治して：それから出することは沢山有ります。コロナもそのうち終息する筈です。その頃はまた張り切って仕事している私でいたいと思います。

理事 日野クリニック腎友会

板橋俊司



2020年は私にとつて一生忘れられない一年となりました。

昨年の今頃は、一昨年12月の脊柱管狭窄症の術後で、車いすです新年を迎えました。透析リスクとはいえ、2か月近い入院生活になるとは想像もしていませんでした。さらに、退院後のリハビリが始まったところ、新型コロナウイルス感染症が拡大し始め、リハビリにも通えなくなり、自宅で体操やスクワットなどして何とか社会復帰しました。

しかし、2月の誕生日検診のCTで肺に影が発見され、一瞬私もコロナかと動揺しました。結果、初期の肺がんで7月に右肺を5分の1切除して、不幸中の幸いか1週間退院出来ました。さらに肺がんの検査中に前立腺がんも見つかり、現在もホルモン治療中です。というわけで、昨年は入院の

一年で散々でしたが、見方を変えれば一気に悪いものを取り払って、残りの人生を謳歌できる準備が整ったようにも思えます。

16年目の透析生活ですが、今年は何より？透析生活を実践することを誓いたいと思います。①1日3000歩以上歩くこと。②食事をバランスよく摂ること。③休肝日を2日以上取ること。④1日を明るく楽しく生きること。

当たり前のことを当たり前にやる一年にしたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症がさらに猛威を振るっていますが、事務局は3人の事務局員で頑張って維持していきます。

残念ながら、全腎協の50周年記念事業（祝賀会、全国大会）は一年延期となりました。そして、2022年は東腎協の50周年記念の年でもあります。厳しい情勢の中、いろいろな意味で今が患者会活動の節目だと思っています。

年齢71ですが、ご迷惑にならないように、老体に鞭打って？もうひと踏ん張りする覚悟です。会員の皆様、コロナウイルスに負けないで、2021年を有意義に過ごしましょう。

とうじんきょう 活動の まど

DIEMAS患者ポータル サイト構築会議報告

戸倉振一

日時…2020年10月29日(木)
9:00～10:00

場所…Web会議

出席者…神奈川工科大学臨床工学科
川崎 路浩氏(東京都透析医
会DIEMAS担当)・東邦大学
医療センター大橋病院臨床工学部
岡本裕美氏・アルカディアシステ
ムズ(DIEMAS開発企業)石
田氏、渡辺氏、和田氏・一般社団
法人ペイシエントフッド宿野部氏
・東腎協 戸倉

東京都透析医会が運用している
Tokyo DIEMASの患者

機能としての患者ポータルサイト
について、透析医会の医師、看護
師、厚生労働省に確認していただ
き、医療者側として、こんな形で
行けたらどうかというものが決ま
ったので、それを確認し、意見交
換をした。

1. 利用登録個人情報

(1) ログイン情報 ID (メー
ルアドレス)、パスワード

(2) 登録情報

名前(漢字)、名前(かな)、郵便
番号(都道府県、市区町村、詳細)、
住所、生年月日、個人情報保護方
針への同意チェック

2. Tokyo DIEMASの

4つの患者機能

(1) 患者カード(透析情報)の
登録・編集・閲覧

登録…①医療安全上の観点から患
者と医療側が協力して入力する方
向を見出す必要がある。

②透析に至った原疾患、透析導入
年月日、血液型、目標体重(ドラ
イウエイト)

③透析曜日、透析時間、透析器、
血流量、穿刺部位、抗凝固剤、注
射液の投与

④禁忌薬、合併症、透析中の血圧
低下、透析中の問題点、通常時の
心胸比など

編集…透析条件変更履歴表示
閲覧…かかりつけ医、災害時受入
先、災害対策を行う関係者で閲覧
権限を付与された者

(2) 安否情報の登録・閲覧

①災害時に患者の安否情報がかか
りつけ医に送信される。

②患者からも安否の発信を行うこ
とで、施設とも協力しあいながら
安否確認をする。

(3) かかりつけ医への連絡
ボタンを押すことでかかりつけ医
へ電話する機能(スマートフォン
の場合)

(4) 情報共有機能

普段から、使い慣れておく必要が
あるので、災害に備えた心得や災
害時にどのように対応するかなど
の災害対策に関する情報提供等を、
患者側と一緒に進めて今後作り込
んでいく。

①既存の関連団体のサイトとの最
新情報のリンクを掲載(JSON
形式データを採用)

②読み物として、災害時の教訓、
体験談の掲載。

③透析食無償サイト運営企業とタ

イアップし、コンテンツの提供を
検討中。

④災害時透析食については透析医
会の先生、看護師さん監修したコ
ンテンツを検討中。

⑤広告収入として、透析旅行関係
ともタイアップも検討したい。

3. その他

(1) 今後は、患者側から何人か
入れて本システムの使用を試して
いきたい。

(2) メディアへの露出、全国展
開して行きたい。

(3) 現状は透析医会の関係者が
運営している。この先、継続して
いくための資金調達が必要。

(4) 行政の支援が必要だが、公
助を受けるのは患者がどれだけ使
うのが、注目される。

(5) 本サイトの必要性を患者に
説明するためには、平時や災害時
に患者ポータルサイトをどの
ように情報共有し活用するのかの
フロー図を作成する必要がある。

全腎協相談員研修会

事務局三好 かおり

1月7日(土) 14:00～Web

にて第18回相談員研修会が行われた。コロナ過で初めてWebでの開催となった。全国から29名の各県腎協議会と全腎協理事4名、合計33名の参加があった。

最初に日本透析医学会副会長の篠田俊雄（感染防止対策部会担当理事）つくば国際大学医療保健学部教授による「コロナウイルス対策」についての講演があった。

7月3日までの統計では全国で透析患者がコロナウイルス感染症に罹患した場合、平均改善した方は28・3%、死亡した方は12・1%、死亡率は26・7%となっている。酸素を使う方が7割にのぼる。平均年齢が高い事が要因の1つである。

透析患者のコロナウイルス感染者数は東京都が全体の三分の一を占めている。

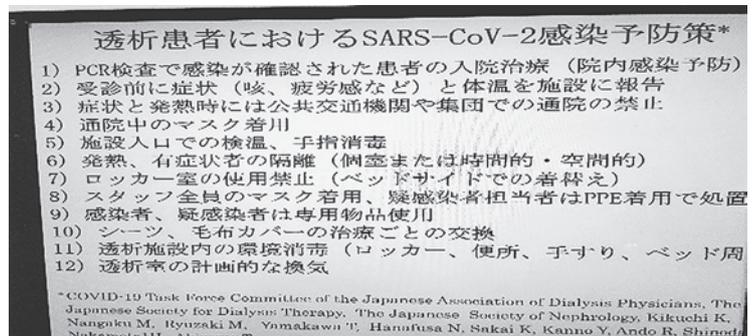
10月30日、全国感染者287名

年齢	致死率
40歳代	5%
50歳代	20%
60歳代	20%前後
70歳代	40%以上
80歳以上	40%前後

透析患者の致死率

死亡43名、東京都感染者83名死亡17名となっている。前記の注意事項も発信している。

SARSの時と比較しながらの解説も有り、2021年の春頃に



は、たぶんワクチンが使用出来る様になるのではないかとの見通しをしている。との講演でした。休憩を挟んで相談員研修会が20分程あり、事例検討(事前資料)を基に、各県腎協に様々な相談が寄せられている。

・クリニック、スタッフへのクレーム・障害者年金・通院費用負担・穿刺ミス・仕事等

多岐にわたつての相談が寄せられており、対応を経験している県腎協から話が聞けた。時間が少なかった為、詳しくはアンケート回答し、後日まとめたものが送られてくる予定である。

第87回全腎協関東ブロック会議

in千葉(リモート会議)

2020年12月6日、第87回全腎協関東ブロック会議in千葉が開催された。夏季に予定された栃木開催が新型コロナウイルス感染症のため中止となり、今回も厳しい情勢でしたが、各県の要望もあつてリモートで開催されました。

開催県の千腎協小川光雄会長の挨拶のあと、全腎協馬上和久理事

の司会で会議は進行しました。

1・報告事項

- ①全腎協50周年式典・全国大会(東京)の報告
 - ②全腎協活動報告
 - ③その他の県腎協からの報告
- ### 2・審議検討事項
- ①会計報告
 - ②今回の千葉会議支出
 - ③全腎協全国大会in東京への関東ブロック助成金の使途について

今年度諸行事が開催されなかったことから各県腎協に10万円の助成金が配布されることになった。リモート会議は今後定期的に行い、情報交換をします。



Webで行なわれた、関東ブロック会議

日本透析医学会資料 2019年末透析患者の現況

表1 2019年末わが国の慢性透析療法の現況

施設調査による集計				
対象施設数		4,487施設	29施設増	0.7%増
回収施設数		4,411施設	9施設増	0.2%増
設備	ベッドサイドコンソール台数	141,520台	1,633台増	1.2%増
能力	同時透析能力	139,839人	1,684人増	1.2%増
	最大収容能力	464,615人	6,018人増	1.3%増

施設調査による集計							
治療方法		通院		入院		合計	
血液透析等	血液透析(HD)	163,900	(52.3)	23,838	(75.6)	187,738	(54.5)
	血液透析濾過(HDF)	137,552	(43.9)	7,134	(22.6)	144,686	(42.0)
	血液濾過(HF)	19	(0.0)	12	(0.0)	31	(0.0)
	血液吸着透析	1,425	(0.5)	80	(0.3)	1,505	(0.4)
	在宅血液透析	754	(0.2)	6	(0.0)	760	(0.2)
腹膜透析等	腹膜透析(PD)	7,647	(2.4)	370	(1.2)	8,017	(2.3)
	週1回のHD(F)等との併用	1,620	(0.5)	55	(0.2)	1,675	(0.5)
	週2回のHD(F)等との併用	122	(0.0)	6	(0.0)	128	(0.0)
	週3回のHD(F)等との併用	24	(0.0)	6	(0.0)	30	(0.0)
	上記以外の併用	63	(0.0)	7	(0.0)	70	(0.0)
	小計	9,476	(3.0)	444	(1.4)	9,920	(2.9)
2019年末透析患者総数		313,126	(100.0)	31,514	(100.0)	344,640	(100.0)

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

人口100万対比	2,731.6人	43.9人増	1.6%増
----------	----------	--------	-------

2019年末透析患者のうち、夜間透析患者数	32,027人	483人増	1.5%増
-----------------------	---------	-------	-------

2019年HD(F)等で新規に透析導入した患者数	38,228人		
2019年PDで新規に透析導入した患者数	2,657人		
2019年新規導入患者総数	40,885人	417人増	1.0%増

2019年透析患者死亡数	34,642人	779人増	2.3%増
--------------	---------	-------	-------

患者調査票による集計									
透析歴	男性		女性		合計		記載なし	総計	
2年未満	51,071	(23.4)	22,490	(19.7)	73,561	(22.1)		73,561	(22.1)
2年～	57,745	(26.4)	26,817	(23.5)	84,562	(25.4)		84,562	(25.4)
5年～	54,947	(25.2)	27,469	(24.1)	82,416	(24.8)		82,416	(24.8)
10年～	26,284	(12.0)	15,129	(13.3)	41,413	(12.5)		41,413	(12.5)
15年～	13,263	(6.1)	9,117	(8.0)	22,380	(6.7)		22,380	(6.7)
20年～	7,210	(3.3)	5,742	(5.0)	12,952	(3.9)		12,952	(3.9)
25年～	3,962	(1.8)	3,532	(3.1)	7,494	(2.3)		7,494	(2.3)
30年～	2,130	(1.0)	1,997	(1.8)	4,127	(1.2)		4,127	(1.2)
35年～	1,127	(0.5)	1,069	(0.9)	2,196	(0.7)		2,196	(0.7)
40年～	617	(0.3)	582	(0.5)	1,199	(0.4)		1,199	(0.4)
合計	218,356	(100.0)	113,944	(100.0)	332,300	(100.0)		332,300	(100.0)
不明		173		93		266			266
記載なし		23		10		33			33
総計		218,552		114,047		332,599			332,599
平均		6.82		8.37		7.35			7.35
標準偏差		7.23		8.44		7.70			7.70

※透析歴別患者数は患者調査票より算出。
かっこ内は列方向の合計に対する%です。

最長透析歴	51年4ヶ月
-------	--------

※最長透析歴は患者調査票より算出。



明けましておめでとうございませす

二〇二一年一月

今年もがんばります

NPO法人東京腎臓病協議会

会長 戸倉 振一

副会長 中南部ブロック長 古暮 宏

副会長 多摩部ブロック長 梅原 秀孝

副会長 北 部ブロック長 榊原 靖夫

副会長 東 部ブロック長 酒井 豊

事務局次長 三好かおり

事務局次長 板橋 俊司

監事 山口 登

監事 岡田 和友

監事 金井 信憲

理事 小林 正和

理事 須賀 春美

理事 関口 新一

理事 長澤 浩

理事 中野 雄蔵

理事 根津 恵子

理事 野口 忠男

理事 松本 茂利

理事 村越 京子

理事 横溝久美子

理事 山田 裕美

社会福祉法人 樹会

特別養護老人ホーム 大井苑

理事長 富家 隆樹

〒356-0005 埼玉県ふじみ野市大井武蔵野1277-1

TEL 049-(262)8686 FAX 049-(256)5300

医療法人財団

織本病院

理事長 高木 由利

〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-261

TEL 042-(491)2121 FAX 042-(491)2121

社会福祉法人 樹会

特別養護老人ホーム 四街道苑

理事長 富家 隆樹

〒284-0008 千葉県四街道市鹿放ヶ丘593-3

TEL 043-(304)8161 FAX 043-(304)8163

社会医療法人社団 健生会

羽村相互診療所

所長 小林 重雄

〒205-0023 東京都羽村市神明台1-30-5

TEL 042-554-5420 FAX 042-555-3151

社会医療法人社団 健生会

すながわ相互診療所

所長 小泉 博史

〒190-0002 東京都立川市幸町5丁目9番2号

TEL 042-(538)1502 FAX 042-(538)1502

医療法人社団

菊川橋クリニック

院長 古川 猛

〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1

TEL 03-(5600)2222 FAX 03-(5600)0805

医療法人社団 君真光

寺田病院

理事長 寺田 光男

〒168-0081 東京都杉並区宮前5丁目18番16号

TEL 03-(333)1166 FAX 03-(333)6765

医療法人財団 健康文化会

小豆沢病院

院長 一瀬 隆広

〒174-8502 東京都板橋区小豆沢一丁目六番八号

TEL 03-3396-8411 FAX 03-3396-0151

医療法人社団 光靖会

井口腎泌尿器科

理事長 井口 靖浩

〒125-0061 東京都葛飾区亀有3-7-7サンセリテ鞠子3階3号室

TEL 03-(383)8721 FAX 03-(383)8723

医療法人社団 光靖会

井口腎泌尿器科・内科 新小岩

理事長 井口 靖浩

〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-49-10

TEL 03-(623)5932 FAX 03-(623)5932

医療法人社団 三友会

あけぼの病院

理事長 南郷 俊明

〒194-0021 東京都町田市中町1丁目23番3号

TEL 042-(728)1111 FAX 042-(728)8461

医療法人社団 松和会

大泉学園クリニック

院長 草場 岳

〒178-0063 東京都練馬区東大泉

TEL 03-(594)5681 FAX 03-(594)5681



明けましておめでとーうございす

二〇二二年一月

<p>医療法人社団 秀佑会</p> <p>東海病院</p> <p>院長 江本 秀斗</p> <p>〒176-0002 東京都練馬区中村北2丁目10番11号 ☎03(39999)1131 FAX03(39999)7027</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星西新宿診療所</p> <p>院長 中尾 俊之</p> <p>〒160-0023 東京都新宿区西新宿3丁目12番12号 ☎03-53304-5655</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星赤羽クリニック</p> <p>院長 西岡 由布</p> <p>〒115-0045 東京都北区赤羽 2丁目11番3号 ☎03-3902-0255</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>新線池袋クリニック</p> <p>院長 石澤 健一</p> <p>〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-10-10 東武アネックスビル4階 ☎03(5911)1250 FAX03(5911)1260</p>
<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星田無クリニック</p> <p>院長 福井 光峰</p> <p>〒188-0011 東京都西東京市田無町2丁目21番地12号 ☎042(464)5711 FAX042(461)4838</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>新小岩クリニック</p> <p>西尾 信一郎</p> <p>〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22 ☎03(3694)5621 FAX03(3694)5628</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>練馬高野台クリニック</p> <p>院長 鈴木 重伸</p> <p>〒177-0033 東京都練馬区高野台 1-8-15 ☎03(5372)6151</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>十条腎クリニック</p> <p>院長 秋元 寛正</p> <p>〒114-0034 東京都北区上十条2丁目13番1号 ガリアニア4階 ☎03(3908)2411 FAX03(3908)2430</p>
<p>医療法人社団 松和会</p> <p>府中腎クリニック</p> <p>院長 篠村 裕之</p> <p>〒183-0055 東京都府中市府中町1-8-1 第7三ツ木ビル6F・7F ☎042(366)8909</p>	<p>医療法人社団 自靖会</p> <p>新小岩クリニツク船堀</p> <p>院長 武田 之彦</p> <p>〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-4-24 ☎03(3688)9901 FAX03(3688)9973</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星新宿南口クリニック</p> <p>院長 高橋 俊雅</p> <p>〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目9番2号久保ビル3階 ☎03(3376)0191</p>	<p>医療法人社団 自靖会</p> <p>自靖会親水クリニック</p> <p>院長 北村 唯一</p> <p>〒132-0033 東京都江戸川区東小松川2-7-1 ☎03(5661)3872 FAX03(3674)7036</p>
<p>医療法人社団 心施会</p> <p>理事長 杉崎 健太郎</p> <p>〒192-0364 東京都八王子市南大沢2-2パオレ5F ☎042(677)4477</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>南大沢パオレ腎クリニック</p> <p>院長 岩本 八千代</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>八王子東町クリニック</p> <p>院長 小俣 百世</p> <p>〒192-0082 東京都八王子市東町 7-6 ダウインチ八王子7F・8F ☎042(646)6996</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>平山城址腎クリニック</p> <p>院長 杉崎 健太郎</p> <p>〒191-0043 東京都日野市平山 5-38-11 平山城址公園駅前ビル ☎042(599)2311</p>



明けましておめでとうございませす

二〇二一年一月

<p>医療法人社団 腎と水</p> <p>新中野透析クリニック</p> <p>理事長 津田 信次 スタッフ一同</p> <p>〒164-0001 東京都中野区本町 3丁目23番3号新中野AMIビル1階 ☎03(3370)8111 FAX03(3370)8129</p>	<p>医療法人社団 駿昭会</p> <p>亀戸畠山クリニック</p> <p>院長 畠山 卓弥</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸2-42-15 亀戸クリニックファーム4階 ☎FAX03(6885)3341</p>	<p>医療法人社団</p> <p>小池内科</p> <p>院長 原澤 信介</p> <p>〒102-0071 東京都千代田区富士見町2丁目13番16号上田ビル ☎03(3265)0203</p>	<p>医療法人社団 菅沼会</p> <p>人工透析・夜間透析・在宅透析</p> <p>腎内科クリニック世田谷</p> <p>理事長・院長 菅沼 信也</p> <p>〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 ☎03(5969)4976 FAX03(5969)4970</p>
<p>医療法人社団</p> <p>清光会</p> <p>理事長 横山 志郎</p> <p>〒249-0001 神奈川県逗子市久木4丁目25番8号 ☎046(873)7141 FAX046(873)9991</p>	<p>特定医療法人 清湘会</p> <p>清湘会記念病院</p> <p>理事長 佐々木 成</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目17番24号 ☎03(3636)2301 FAX03(3636)2309</p>	<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p>立川北口駅前クリニック</p> <p>理事長 檜垣 昌夫 院長 石原 理裕</p> <p>〒190-0012 東京都立川市曙町 1丁目31番2号遠藤創進ビル3階 ☎042(523)2299 FAX042(523)2400</p>	<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p>幸町腎クリニック</p> <p>院長 渡辺賀寿雄</p> <p>〒190-0004 東京都立川市柏町4丁目1番1号 ☎042(536)3099 FAX042(536)3269</p>
<p>医療法人社団 長尺会</p> <p>長久保病院</p> <p>三和クリニック</p> <p>理事長 桑原 勝孝</p> <p>〒186-0011 東京都国立市谷保6907番地の1 ☎042(571)2211 FAX042(571)2288</p>	<p>医療法人社団 春口クリニック</p> <p>飯田橋春口クリニック</p> <p>院長 春口 洋昭</p> <p>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3丁目9-3 SKプラザ2F ☎03(5215)1515 FAX03(5215)1519</p>	<p>医療法人社団</p> <p>南青山内科クリニック</p> <p>院長 鈴木 孝子</p> <p>〒107-0062 東京都港区南青山 7-8-8 101 ☎FAX03(6805)1836</p>	<p>医療法人社団 やよい会</p> <p>あやせ駅前腎クリニック</p> <p>院長 榎本 美穂</p> <p>〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-16-4 とうしんビル5・6階 ☎03(5697)8281 FAX03(5697)8282</p>
<p>医療法人社団 やよい会</p> <p>立石腎クリニック</p> <p>院長 遠藤 聡</p> <p>〒124-0012 東京都葛飾区立石 8-11-2 賛生会ビル2階・3階 ☎03(5672)2151 FAX03(5672)2155</p>	<p>医療法人伯鳳会</p> <p>東京曳舟病院</p> <p>病院長 山本 保博</p> <p>〒131-0032 東京都墨田区東向島2丁目27-1 ☎03(5655)1120 FAX03(5655)1121</p>	<p>医療法人社団</p> <p>東武練馬クリニック</p> <p>院長 目良 純一郎</p> <p>〒175-0083 東京都板橋区徳丸3-11-2 ☎03(5922)3530 FAX03(5399)6880</p>	<p>医療法人社団</p> <p>練馬桜台クリニック</p> <p>理事長 永野 正史</p> <p>〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目11番9号 ☎03(5999)0723 FAX03(5999)0823</p>



明けましておめでとーうございいます

二〇二一年一月

<p>株式会社 教宣文化社</p> <p>代表取締役 成瀬 大輔</p> <p>〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下79-4 ☎04(29444)4323 FAX04(29446)0118</p>	<p>グリーンループ合同会社</p> <p>〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目12番地13号 ☎03(6277)6580 FAX03(3505)8508</p>	<p>株式会社 東京在宅サービス</p> <p>代表取締役 中野宏次郎</p> <p>〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目5番4号YKBマイクガーデン201 ☎03(3354)0341 FAX03(3354)0373</p>	<p>ジープラン株式会社</p> <p>代表取締役 長谷川貴一</p> <p>〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-3-3 ☎03(3864)1233 FAX03(3864)1244</p>
<p>ベータ食品株式会社</p> <p>代表取締役社長 原 年秀</p> <p>〒531-0076 大阪市北区大淀中1-16-10 高石ビル5階 ☎0800-111-3211 FAX0120-989-831</p>	<p>通院移送センター タンポポ</p> <p>理事長 小野崎 勝</p> <p>〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目12番13号ノイメゾン桜台1階 ☎03-6751-7372 FAX03-6751-7374 (携帯)080-3204-0226</p>	<p>扶桑薬品工業株式会社</p> <p>東京第一支店 取締役支店長 松井 幸信</p> <p>〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番5号 ☎03(5203)7101 FAX03(5203)7088</p>	<p>あかつき印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 大久保 豊</p> <p>〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4の25の2 APビル ☎03(3497)0531 FAX03(3497)0043</p>
<p>東京障害年金相談センター</p> <p>所長 杉野 賢一</p> <p>〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター13階5号 ☎03-3888-6614</p>	<p>エルピス株式会社</p> <p>常務取締役 堀江 好美</p> <p>〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目6-29 第3ユヤマビル201 ☎06-6100-5010 FAX06-6100-5020</p>	<p>読者の皆様 新年あけましておめでとーうございます 本年もよろしくお願ひ申しあげます</p> <p>吉祥寺あさひ腎友会 会員一同</p> <p>吉祥寺あさひ病院・吉祥寺クリニック内</p>	<p>謹賀新年</p> <p>勝和なごみ会 会長 土田 孝 会員一同</p>
<p>清湘会記念病院腎友会</p> <p>会長 野口 忠男 他会員一同</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目17番24号 ☎03(3633)2301</p>	<p>松和患者会</p> <p>西新宿支部 新宿南口支部</p> <p>〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-9-22久保ビル3階 ☎090-8052-4207(遠藤携帯)</p>	<p>謹賀新年</p> <p>新江東橋クリニック腎友会 会長 金井 信憲 副会長 廣田 昭弘 会計 高橋 修 監査 上松 一郎 監査 隠岐 登 他会員一同</p> <p>〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-7-13 ☎03(5637)6920</p> <p>社会医療法人社団 健友会</p>	<p>中野共立病院腎友会・絆の会</p> <p>〒164-0001 東京都中野区中野5丁目44番7号 ☎03(3388)3166 透析室03(3388)3166 FAX03(3388)9107</p>

明けましておめでとうございます

全腎協50周年記念事業
（祝賀会、全国大会）について

<p>医療法人社団 心施会 八王子東町クリニック桑の実会一同 JR八王子駅前通り ダビンチビル7F 〒042(646) 6996</p>	<p>医療法人社団 心施会 平山腎友会一同 京王線平山城址公園駅前 東京都日野市平山5-38-1 〒042(599) 2311</p>	<p>日野・高幡・百草園腎友会 会長 板橋 俊司 副会長 春日 清 副会長 栗木美智子 会計 樋渡 恭子 世話人 長田由紀子 世話人 富張 理子 世話人 田中 克幸 （高幡） 〒191-0011 住所 日野市本町3丁目11番地1 〒042(584) 6621</p>	<p>医療法人社団 心施会 呼びかけ人（日野） 板橋 俊司 （平山） 岡田 和友 （豊田） 矢野 茂 （高幡） 田中 克幸 （百草） 富張 理子</p>
<p>日野市透析患者ネットワーク 準備会 〒183-0055 東京都府中市府中町1丁目8番1号 第7三ツ木ビル6F・7F 〒042(366) 8909 FAX 042(334) 2601</p>	<p>医療法人社団 心施会 府中けやき会一同 〒120-0023 東京都足立区千住曙町4番16号 〒03(3888) 2707 FAX 03(3888) 7729</p>	<p>柳原腎クリニック 健腎会 会長 永井 昌平 〒134-0085 東京都江戸川区南葛西1丁目5番1号 〒03(5658) 0757</p>	<p>江戸川区腎友さつき会 会長 戸倉 振一</p>
<p>森山の会 会長 岸里 悟 他会員一同 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西7丁目12番7号 社会医療法人社団森山医学会 森山脳神経センター1病院透析センター1内 〒03(3675) 1211</p>	<p>織本病院腎友会 会長 山下 賢 副会長 中野 雄蔵 副会長 宮本 弘之 会計 竹内 則雄 監査 細田貴代美 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-26-1 〒042(491) 2121 FAX 042(491) 6654</p>	<p>腎内科クリニック世田谷患者友の会 会長 古暮 宏 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-21-14 〒03(5969) 4976 FAX 03(5969) 4970</p>	<p>謹賀新年 菊川橋クリニック腎友会 会員一同 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1 〒03(5600) 2222</p>
<p>高松医院腎友会 会長 三好 かおり 〒179-0075 練馬区高松六-四-二十三 医療法人 社団蒼生会 高松病院内</p>	<p>1月7日、全腎協金子準備委員会委員長と東腎協実行委員の戸倉会長・板橋事務局長が打ち合わせの結果、新型コロナウイルス感染症が首都圏を中心に感染拡大を起している状況下での大会の開催は難しいと判断し、2021年度の開催は断念し、1年延期し2022年5月に開催することを確認しました。合わせて、1月24日(日)開催の全腎協通常理事会に報告し、承認の後、最終決定となります。2022年度は東腎協の50周年記念でもあり、全腎協との合同記念大会の開催の可能性について全腎協通常理事会に提案するよう要請しました。</p>		

ご寄付御礼

扶桑薬品工業(株)東京第一支店様
ご寄付ありがとうございます

青い鳥はがき寄付御礼

親水クリニック友の会

ご寄付ありがとうございます

今後の活動予定

- 10月～3月
- 第50回国会請願署名運動
- 1月23日(土)
- 関東ブロック会議(WE B)
- 1月24日(日)
- 第32回腎臓病を考える都民の集い(録画)2月初旬配信
- 1月31日(日)
- 第162回理事会・三役会
- 2月28日(日)
- 第163回理事会・三役会
- 3月18日(木)
- 第50回国会請願

東京都腎臓移植組織適合性検査費(HLA 検査費)助成事業のご案内

①対象者

都内に住所を有し、人工透析療法を受けている慢性腎不全の方で、献腎移植を希望するため、公益社団法人日本臓器移植ネットワークへ登録する方(公益社団法人日本臓器移植ネットワークへの登録に必要な腎臓移植組織適合性検査費が一部助成されます)。

②助成額

腎臓移植組織適合性検査費用の一部(平成29年度については10000円とします)。

③書類提出及び問合せ先

東京都福祉保健局 保健政策部 疾病対策課 献血移植対策担当
電話 03-5320-4506 FAX 03-5388-1437

東京都と協定を締結しているHLA検査センター	検査機関	TEL
	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	TEL03-3588-1111
	東京医科大学 八王子医療センター	TEL042-665-5611
	東京女子医科大学病院	TEL03-3353-8111
	東邦大学医療センター大森病院	TEL03-3762-4151
その他のHLA検査センター(都内及び近隣3県)		
	昭和大学病院	TEL03-3784-8000
	埼玉医科大学国際医療センター	TEL042-984-4111
	埼玉医科大学総合医療センター	TEL049-228-3400
	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院	TEL043-261-5171
	東海大学医学部付属病院	TEL0463-93-1121
	北里大学病院	TEL042-778-8111
	公立大学法人横浜市立大学付属病院	TEL045-787-2800

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
賛助会員入会のお願い

1972年(昭和47年)11月19日、東京都腎臓病協議会(現、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会)を結成しました。結成から44年を経過し、透析医療も格段に進歩し、40年を迎えている透析患者さんもうらっしゃいます。

その一方で社会保障制度、医療費制度の削減が社会問題となっており、莫大な費用を要する透析医療も安心してはられない状況です。これからも医療機関、各企業、患者団体と結束して活動することが大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る活動に賛同いただければ是非、賛助会員として団体の活動を支えていただきたく心よりお願い致します。

記

賛助会員会費：個人年額5,000円、
団体年額 1口10,000円/1口以上
※年1回名刺広告を機関誌「とうじんきょう」夏号に掲載させていただきます。



「新・透析バンザイ」たくさんのご注文ありがとうございます。
書籍担当 松山

透析患者である著者の実体験などをもとに、透析の基礎知識から就職、運動、患者会をはじめ、透析をしながら幸せに生きる方法をマンガで分かりやすく解説した「新・透析バンザイ」が去年の6月に刊行され、刊行された当初はAmazon通販のみでの販売でした。本が刊行されてから東腎協の会員さまより「新・透析バンザイ」は取り扱っていませんか?どうしてもご購入したいのですが。と事務局に問い合わせの電話が数件あり、比較的高齢な東腎協会員層の皆さまには、購入手段がAmazon通販のみだと、購入するには難し

いのではないかと事務局でも話題となり、本を購入したい会員の方がいるなら、東腎協も力になれないかと、著者、発行元の皆様と協議し、東腎協事務局でも取り扱うことになり、宣伝するためのチラシを制作し、全腎協に加盟する全国組織への配布や、機関誌「とうじんきょう」夏号No.230号「ぜいじんきょう」No.301号でもご紹介をさせていただきました。

「本の注文が始まったら事務局は本屋になるぞ」と脅されながら、「年末までに目標1000冊!」と事務局長は豪語されていましたが、私個人的にはそれは難しいかと半信半疑でした(笑)。

注文開始は9月中旬頃より始まり、全国各地から数十冊まとめてのご注文や、ために1冊購入して本の中身を読んでからなど、個人でご注文される会員の方からもたくさんのご注文をいただきました。月ごとの購買集計では9月282冊、10月373冊、11月199冊、12月161冊となり、12月23日現在、合計で1015冊の注文をうけ、目標の1000冊!を達成することができました。

私の個人的な予想はいい意味で

裏切られることとなりました。東腎協患者会、個人会員の皆さま、全腎協に加盟する組織団体の皆さま、たくさんのご注文ありがとうございました。2021年も「新・透析バンザイ」のご注文を受け付けております。お気軽に東腎協事務局までご連絡ください。

事務局雑感

新年おめでとうございます。

私の生活は昨年の緊急事態宣言(一部はそれ以前から)より今まで、変わっていません。買い物は、三分のメニューを考えて、主人にメモを渡してお願いして買ってきてもらい、たまに行くだけです。見たい映画も行っていませんし、外食も3回行った位で、好きな日帰り温泉・スーパー銭湯も何時行ったのだろうかと思いつけないくらいです。年2回の旅行も「今じゃない」と思い行かず、帰省も夏に続きお正月もZOOMで96歳の愛知に住む母(2番目の兄が同居)と合う状態です。都内に一人暮らしをしている娘は、私を案じて帰省はしませんでした。月水金は事務局に、火木土は透析

に通い、日曜日は用事が無い限り家に引きこもり状態が続いています。

変わった事といえば、加湿器を購入した事と冬でも間接換気をと聞いたので使用していない北側の部屋の窓を2cm程、朝から寝るまで開けています。

まだまだコロナとの生活は続きますので、お互い気を付けましょう。

今年もお世話になりますが、よろしく願います。 三好

編集後記

○12月20日に自宅を転居しました。年末の慌ただしい時期でしたが、一昨年末に手術した脊柱管狭窄症後初めての冬を向かへ、足、膝、腰のしびれが日に日に強くなって、アパートの3階からエレベーター付きUR団地の5階に引っ越した次第です。

ベランダから高尾山、富士山が見え、駅前のイオンモールにカルチャーショックを受け、床暖房付きの人並に快適な年末年始を送りました。

○さて、12月31日ついに東京都の

感染者は1300人を超え、1月早々には緊急事態宣言が再発令される事となりました。諸外国ではワクチンの投与が始まり、日本でも春先には承認・投与といわれています。そして、東京オリンピックは何としても開催するという果たして予定通り進むのでしょうか?基礎疾患で高齢者である私は、不安が頭をよぎります。

全腎協50周年記念式典・全国大会も1年延期となりました。2021年も新型コロナウイルス感染症は簡単に終息しないでしょう。

今年も東腎協の諸行事は開催が心配されます。しかし「都民の集い」のように動画配信するなど、あらゆる手を尽くして活動していきたいと思えます。 板橋

表紙の言葉

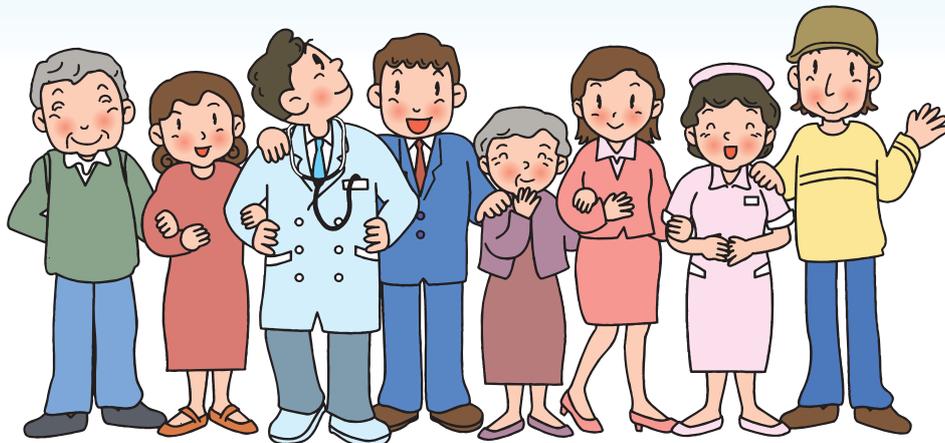
新年号の表紙は、昨年6月に刊行された『漫画 透析バンザイ』の著者、中村益美さんに新年号らしい元気なイラストを描いていただきました。「コロナに負けずに、透析バンザイ」を合言葉に今年も頑張りました。

(2021年)

30年透析会員のお名前

おめでとうございます。これからもがんばって!

会員名	導入年月日	患者会名
✿ 石山 久美子	1990年1月28日	個人会員
✿ 品川 妙子	1990年3月18日	阿佐谷すずき腎友会
✿ 高野 太郎	1990年3月20日	個人会員
✿ 榎本 美津枝	1990年4月	個人会員
✿ 金子 学	1990年5月10日	小笠原クリニック友の会
✿ 仙北谷 美代子	1990年5月24日	すながわ相互診療所患者会いずみ
✿ 阿部 広行	1990年5月30日	個人会員
✿ 丸山 みち子	1990年6月27日	立川北口駅前腎友会
✿ 長田 友紀子	1990年7月2日	日野クリニック腎友会
✿ 佐々木 勝利	1990年12月28日	個人会員
✿ 林 勝則	1990年12月30日	清湘会聖橋クリニック腎友会
✿ 相馬 貴美子	1982年10月25日	平山腎友会
✿ 倭文 茂好	1985年9月1日	八王子東町クリニック桑の実会



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F
TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556

慢性腎臓病患者は全国で1300万人とも言われ、新たな国民病として正しい知識と治療法の理解が求められています。CKD（慢性腎臓病）は、「末期腎不全」のみならず心筋梗塞や脳梗塞など心血管疾患の原因でもあることもわかってきております。

健康診断を積極的に受け、腎臓病を早期に発見して治療すれば透析導入することなく、または透析導入を遅らせることができます。

講演Ⅰ 60分

慢性腎臓病(CKD)を 良く知ろう

～腎臓を守るために～

講師 福井 亮 先生

東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 助教



講演Ⅱ 60分

今日から実践!

腎臓を守る食事療法のコツ

講師 赤石定典 先生

東京慈恵会医科大学附属病院 栄養部係長 管理栄養士



第
32
回

腎臓病を考える

動画配信

都民の集い

「第32回腎臓病を考える都民の集い」は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため動画配信となりました。

動画配信予定

2021年
2/10 水日～3/31 水日まで

視聴方法



1 NPO 法人東腎協のホームページにアクセスし
(<http://www.toujin.jp/>) トップページから「第32回
腎臓病を考える都民の集い」のバナーをクリックする
か、【QPコード】よりご視聴してください(約150分)。



2 視聴料は無料ですが、通信料は参加者のご負担となり
ます。Wi-Fi 環境下でのご視聴をお勧めします。



「ご意見・ご質問等」は、googleフォーム
または、質問用紙にてNPO法人東腎協に
メール・FAXを送付してください。
(info@toujin.jp) 後日、講師の先生より
のご回答を東腎協よりお送りいたします。

お問合せ NPO法人東京腎臓病協議会 ☎:03-3944-4048 Fax:03-5940-9556 <http://www.toujin.jp/>

主催 NPO法人東京腎臓病協議会

共催 東京都

後援

一般社団法人日本腎臓学会 / 一般社団法人日本透析医学会 / 公益社団法人日本透析協会 / 公益財団法人日本腎臓財団 / NPO法人
腎臓サポート協会 / 認定NPO法人腎臓病早期発見推進機構 / 一般社団法人全国腎臓病協議会 / NPO法人日本腎臓病協会